

Society 5.0 を目指して、今、防災は新たなステージへ
～科学技術と現場の力が結集～



SIP 防災 シンポジウム 2017

戦略的イノベーション創造プログラム
レジリエントな防災・減災機能の強化

7.27 (木) 12:00~17:30

フクラシア東京ステーション 5F
参加費無料・要事前登録 (※懇親会のみ会費制)

主催：内閣府／国立研究開発法人科学技術振興機構

これから日本が目指す超スマート社会「Society 5.0」を支える防災とは何か。これからの防災に必要なものは何か。

——戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) の一課題である「レジリエントな防災・減災機能の強化」は、災害大国・日本にとって欠くことのできない課題に取り組んでいます。

4年目を迎えた本プロジェクトが開催する「SIP 防災シンポジウム 2017」は、新しく研究開発した科学技術を災害現場に実装するため、初めて関係者が集うシンポジウムです。研究者と現場で防災を推進する地方公共団体・企業の担当者との対話を中心に、参加される皆様と共に、「日本のこれからの防災」について考えます。

主なプログラム

* 詳細は裏面をご覧ください

- 12:00 ポスターセッション (開場 11:30)
- 13:30 開会挨拶／プログラムディレクター挨拶
- 13:45 講演 A ブロック：災害を予測する・予防する
- 15:20 講演 B ブロック：災害に対応する
- 16:40 パネルディスカッション
- 17:45 懇親会

SIP「レジリエントな防災・減災機能の強化」
プログラムディレクター 堀 宗朗



東京大学地震研究所 巨大地震津波災害予測研究センター 教授・センター長。1984年東京大学工学部土木工学科卒業。2012年より現職。理化学研究所計算科学研究機構の総合防災・減災研究ユニットリーダーも務める。

参加・お申し込み方法

シンポジウム参加費無料

* 懇親会のみ会費制 (お一人 2,000 円)

要事前登録

* 定員 250 名 (定員になり次第締め切り)

* 下記イベントページよりお申し込みください

<http://www.jst.go.jp/sip/event/k08/20170727/index.html>

会場

フクラシア東京ステーション

<https://www.fukuracia.jp/tokyo/access/>

東京都千代田区大手町 2-6-1

朝日生命大手町ビル 5F

- 羽田空港より電車で30分、タクシーで20分
- JR 東京駅 日本橋口より徒歩1分
- 地下鉄大手町駅 B6 出口直結



シンポジウムの模様を Live 配信予定!

当日会場にお越しになれない方はこちらをご覧ください
https://www.youtube.com/channel/UC2i9_aABw3gLeFAqTR-Tw9A

12:00 ポスターセッション

Room K

13:30

Room H

開会挨拶 **久間 和生** 内閣府 総合科学技術・イノベーション会議 常勤議員

SIP「レジリエントな防災・減災機能の強化」について **堀 宗朗** レジリエントな防災・減災機能の強化 プログラムディレクター

13:45 <第一部> 講演 A ブロック：災害を予測する・予防する

津波予測

S-net を用いた津波遡上即時予測技術の開発

青井 真 防災科学技術研究所 レジリエント防災・減災研究推進センター 研究統括

千葉県における津波遡上即時予測システムの利用に向けた取組

浅尾 一巳 千葉県 防災危機管理部防災政策課 主幹

豪雨・竜巻
予測

マルチパラメータフェーズドアレイ気象レーダの開発と豪雨・竜巻の早期予測の実現

高橋 暢宏 情報通信研究機構 電磁波研究所 研究統括

大阪府における PAWR を活用した豪雨検知システムの実証実験

土井豆 政廣 大阪府 都市整備部事業管理室事業企画課防災・維持グループ 主査

水・土砂災害
予測

浸水予測システムの概要と自治体への展開

板垣 修 国土技術政策総合研究所 河川研究部水害研究室 室長

液状化予防

一緒に悩み、一緒に考え、正しく恐れて、納得したら事前の耐震（液状化）対策を！

菅野 高弘 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 上級専任研究員

高浜油槽所の役割と最適な耐震対策の取組

鈴木 城治 東洋合成工業株式会社 高浜油槽所 所長

15:20 <第二部> 講演 B ブロック：災害に対応する

情報共有

リアルタイム被害推定システム及び府省庁連携防災情報共有システム「SIP4D」と今後の展開

藤原 広行 防災科学技術研究所 レジリエント防災・減災研究推進センター センター長

白田 裕一郎 防災科学技術研究所 レジリエント防災・減災研究推進センター 研究統括

人工知能による新たな災害時の保健医療支援の実現

金谷 泰宏 東京工業大学 情報理工学院 特定教授

ため池防災支援システムの開発

堀 俊和 農研機構 農村工学研究部門施設工学研究領域土構造物ユニット長

通信

災害情報の配信技術の取組

熊谷 博 情報通信研究機構 耐災害 ICT 研究センター 研究センター長

エリアメールの多言語化に向けた取組

牛田 裕人 株式会社 NTT ドコモ 第一法人営業部法人サービス第一担当 主査

地域連携

災害対応アプリの開発と情報連携を基盤とする地域防災力の向上

野田 利弘 名古屋大学 減災連携研究センター 教授

産官学協働による地域連携情報共有システム地域実装への取組

永坂 智徳 愛知県碧南市 市民協働部防災課長

16:40 <第三部> パネルディスカッション：災害リスク社会と AI 未来創造社会「Society 5.0」

パネリスト

平田 直 サブプログラムディレクター／東京大学 地震研究所地震予知研究センター 教授・センター長

中川 和之 プログラム会議委員／株式会社時事通信社 解説委員

浅尾 一巳 千葉県 防災危機管理部防災政策課 主幹

永坂 智徳 愛知県碧南市 市民協働部防災課長

モデレーター

堀 宗朗 プログラムディレクター／東京大学 地震研究所巨大地震津波災害予測研究センター 教授・センター長

開会挨拶 **黒田 亮** 内閣府 政策統括官（科学技術・イノベーション担当）付審議官

(終了予定 17:30)

17:45 懇親会

Room L

* 懇親会のみ会費制（お一人 2,000 円）となっております。事前にお申し込みのうえ、当日受付にてご清算ください。

* プログラム内容は予告なく変更になることがあります。あらかじめご了承ください。